

「泥の隙間の微小動物 - メイオファウナ」- 2

線形動物（線虫類）

「線虫」と聞くと、カイチュウやギョウチュウなどの寄生虫を思い浮かべるかもしれませんが、2万種ほど知られている線虫類（線形動物門）のうち、動物寄生性のものはわずか15%に過ぎません。既知種の大多数（約50%）は海底堆積物中で自由生活をおくっています。デトリタスを食べたり、砂粒表面の細菌を食べたり、さまざまな食性のものが知られている海産線虫類は、通常、多細胞性メイオファウナ全個体数の80%以上を占め、生態系において重要な役割を果たしている消費者です。海域では、有機物消費量全体の1/4を、この線虫類が担っているとされています。先ほど、既知種は約2万種と書きましたが、実際にはもっとたくさんの種が存在すると言われており、「海産自由生活性のものだけで1億種(!)」という数字も提唱されています。

参考文献:「無脊椎動物の多様性と系統」裳華房、「線虫の生態学」東京大学出版会



天草前島の砂質干潟に生息する線虫類。
スケールバーは0.2mm。見やすくするため染色されているが、実際の体色は無色透明。

お知らせ

1. 平成22（2010）年度・公開実習予定 （合津マリンステーション）

- (1) 「干潟観察会」（2回）・「海蛍観察会」（3回）
（上天草市と共催で7・8月に実施、日時は未定）。
どちらの観察会も上天草市松島町で行います。
詳細は、合津マリンステーション（0969-56-0277）
または天草ビジターセンター（0969-56-3665）にお問い合わせ下さい。
- (2) 「海の生きものを知る - 天草の海の神秘 -」
（熊本大学一般公開実習）
7月17日（土）～18日（日）
（1泊2日、マリンステーションに宿泊）。
高校生対象。
ウミホタルやハクセンシオマネキなどの観察、
海岸動物の採集と観察、実習船を使ってのプランクトンの採集やイルカの観察を行います。合津マリンステーションに集合（7月17日13時開始、18日14時解散）。募集人員は、25名。
- (3) 「公開臨海実習：行動生態学実習」
（大学間単位互換実習）
8月18日（水）～24日（火）
（6泊7日、合津マリンステーションに宿泊）。
大学生対象。
ハクセンシオマネキとヤドカリ類の行動生態学の講義と実習（野外観察、室内実験）を行います。
単位認定については各大学の事務で確認して下さい。
募集人員は12名。

なお、合津マリンステーションまでの交通や実習の詳細は、HP（<http://www.geocities.jp/henmiy21/>）で確認できます。

2. むつごろう通信への投稿を歓迎します

むつごろう通信にご提供いただいた記事・写真を掲載します。原稿は400字程度の平易な文章で書き、写真には30字以内の説明をつけてください。

秋元 和實 (akimoto@sci.kumamoto-u.ac.jp)、または滝川 清 (taki2328@kumamoto-u.ac.jp) までお送りください。編集で手を加えることもありますが、ご了承ください。

連絡先：〒860-8555 熊本市黒髪2丁目39番1号
熊本大学沿岸域環境科学教育研究センター
事務連絡先：熊本大学研究・国際部研究支援課
TEL：096(342)3143 FAX：096(342)3149
HP：<http://engan.kumamoto-u.ac.jp/index.html>